

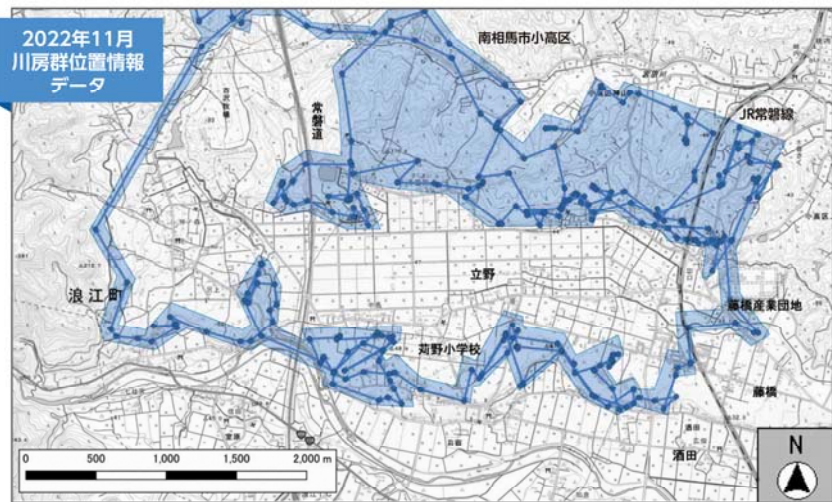


浪江のニホンザルの群れ知っていますか？

動物特性 ～群れ社会とは～
ニホンザルは一般的に複数家系のメスを中心に、群れを形成して行動します。
つまり、群れの中の1頭のメスの動きがわかれば、全体の動きもわかり、群れで管理しやすいという特徴があります。

浪江での特徴、被害状況
町の避難解除区域では主に3つの群れ（川房群、山麓線群、高瀬川群）が存在し、広い行動範囲で主な農作物被害を起こしている群れが川房群です。
川房群は町の請戸川以北と南相馬市を往来し、家庭菜園の夏野菜を中心に農作物被害を引き起こします。

対策のポイントとなる点
ニホンザルの群れはエサを求めて移動します。町内では7月～12月に夏野菜に加えて柿や栗などの果樹を食べにやってきます。
川房群の位置情報データによると、南相馬市小高区から立野、藤橋を通過して町内の広範囲を移動することがわかります。町ではこれまで、町中に放置された果樹を伐採する事業を行ってきましたが、伐採に関わらず、エサとなるものを与えない環境づくりが、ニホンザル被害への有効な対策の一つです。



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、是非お話しをお聞かせください。



☎ 農林水産課農林水産係
☎ 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

- 防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）
- 追い払い花火の配布
- 鳥獣被害に関する勉強会（2月24日金開催予定）
※詳しくは21頁「鳥獣被害防護柵の勉強会」をご確認ください。

INTERVIEW



みんなの鳥獣対策

浪江町の地域課題「鳥獣被害」を「防ぐ・軽減させる、ため地域で取り組む鳥獣対策を紹介します。



勝山 一美さん・美津子さん（立野）
2018年に二本松市から、立野地区に帰還し夫婦2人で生活しています。趣味の家庭菜園では柿や桃、トウモロコシなどを育てています。

加害獣種を教えてください

ニホンザル2、3頭による被害を受けています。

いつから、どんな被害がありましたか？

2年程前から家庭菜園の農作物や庭の果樹が食い荒らされる被害が始まりました。家庭菜園はトウモロコシやスイカ、メロンなども食べられました。また、種から育てた果樹が

食べられてしまい、自分たちが食べる楽しみがなくなっていました。

対策のきっかけを教えてください

同じ果樹でも背の高い果樹が多く食い荒らされ、背の低い果樹は食い荒らされにくいことに気が付きました。そこで、果樹が大きくなりすぎないように管理することが対策に繋がるのでは、と考えました。

具体的な対策方法を教えてください

私たちが食べたり、検査に使う分以外を剪定し、果樹のサイズを小さくしています。脚立で届く範囲は二人で協力して剪定します。剪定した後は、果樹や枝、落ち葉がサルのエサにならないよう廃棄しています。



今後の意気込みを教えてください

サルとは共生していくつもりで、被害を抑えていくように考えていきたいです。ヒステリックにならず、動物との知恵比べを楽しみたいです。また、町内の人と意見交換をして、より効果的な対策などを知る機会も欲しいと考えています。

鋭い観察力から生まれた対策に加えて、対策への前向きな気持ちを持ってほしいです。

